

茨香会だより (第1号)

(茨城高専同窓会)

令和3年9月28日
茨香会 (茨城高専同窓会)
会長 海老根 昭司
(昭和48年機械工学科卒)



1. はじめに

日頃から、保護者の方々には同窓会活動にご理解とご支援を賜りまして御礼申し上げます。

コロナ禍の中で行われた東京五輪・パラリンピックでは、日本人選手の活躍に元気付けられましたが、感染拡大という見えない敵との戦いを今まさしく強いられている今日この頃ではないでしょうか。

さて、この度、私共茨香会 (茨城高専同窓会) から学生および保護者の方々へ『茨香会だより』を発行することにしました。その背景について少し説明させていただきます。

茨香会は1969年に一期生が卒業して設立しましたので、半世紀(50年)以上の活動実績を積み重ね、会員数も8000名以上となりました。高度成長期に始まって、バブル崩壊、IT化時代という変遷があり、ダイバーシティといわれる多様性の時代となりました。同窓生の動向にも変化が現れ、5年の卒業を待たずに進路変更し、その方たちも茨香会に入りたいという希望者が出てきました。

そのため、高専の在籍年数に関わらず茨香会会員とすべく、昨年度から入会時期を入学時と致しました。従って、茨香会活動を会員である現役学生とその保護者にも開示すべきとの意見が出まして、この度の『茨香会だより』発行となったものです。

2. 活動報告

(1) 課外活動支援

従来からのクラブ・部活動(補助金)支援を行っており、今年度は下記の支援を行いました。

- | | | |
|-----------------------|-------|------------|
| 1) 電気自動車エコラン | ----- | 支援額: 5万円 |
| 2) 硬式野球部 | ----- | 支援額: 5万円 |
| 3) 酒沼のマイクロプラスチック調査 | ----- | 支援額: 2.5万円 |
| 4) 女子中高生夏の学校 理系授業 | ----- | 支援額: 5万円 |
| 5) 世界トップの軌道解析のプログラム実装 | ----- | 支援額: 4.5万円 |

なお、昨年度はコロナ禍の中、課外活動が自粛されていたため支援の要請がほとんどありませんでした。そこで学校側、後援会側と相談し、学生のより安全・安心な学校生活を送って頂くために消毒用アルコールの寄贈をして参りました。

今年度もコロナ禍の勢いは止まらないため、消毒用アルコールの追加寄贈を計画中です。

寄贈品
(学内随所
に設置頂く)

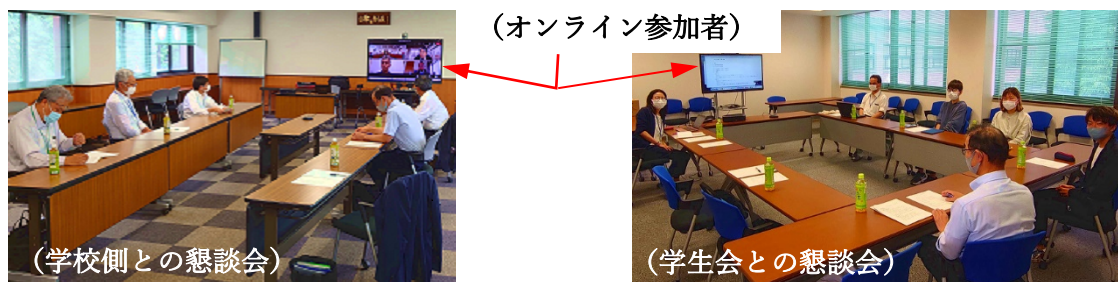


(2) 懇談会の開催

昨年度はコロナ禍の影響で開催できませんでしたが、今年度は下記の懇談会を行いました。

- 1) 学校側との懇談会：6月19日（土）午後（米倉校長以下関係者とハイブリッド形式実施）
- 2) 後援会との懇談会：7月3日（土）午前（根本会長以下役員と対面形式実施）
- 3) 学生会との懇談会：7月5日（月）夕方（役員とハイブリッド形式実施）

各懇談会とも学生支援に対し、お互いに協力し合いながら進めていくことを確認しました。



(3) キャリアデザイン実践講座支援

2年前に学校側からの要請を受け、本科4年生、専攻科1年生を対象に『キャリアデザイン実践講座』と称した就職活動の支援を実施しました。模擬面接の面接官として、エントリーシート等の書き方、面接の受け方のアドバイスを希望学生に対して実施させて頂きました。

昨年度は、コロナ禍の中、活動自粛のこともあり、対面式の模擬面接からオンライン方式による相談に切り替えて実施させて頂きました。

オンライン
面談の様子



オンライン
面談の画面



今年度は、学生側、後援会側との懇談会結果を踏まえ、また、学校側とは8月21日に校長先生はじめ関係者（米国在住者含む）と協議して、対象学生の枠を広げての支援方法を検討中です。

多方面での活躍をしている本校卒業生（同窓会スタッフ）を揃えて、学生とオンライン会議で会話する機会を茨香会主導で実施していく計画です。

そのスタッフの多様な経歴を紹介しますと、本科5年生卒業後

(企業) (企業⇒転職) (企業⇒定年前起業) (企業⇒定年後継続) (企業⇒定年後起業)

(外資系企業⇒米国30年在住) (専攻科⇒企業) (専攻科⇒修士・博士課程⇒企業)

(編入学⇒企業) (編入学⇒修士・博士課程⇒企業) (編入学⇒博士課程⇒企業⇒母校)

詳細は、今後、学生の学内メール及び同窓会ホームページを通してご案内させて頂きます。

今後とも相変わらずのご支援・ご協力の程を何卒宜しくお願い申し上げます。

以上